

祝・開苑 30 周年

共に歩み、

共に耕す一年へ

2026.1.5

2026 年、私たちの 挑戦が始まります

今年のスローガン「深耕」には、
私たちが築いてきたケアの形をより深く
掘り下げ、一人ひとりの専門性を高め
るという決意が込められています。

深耕 2026

築いた歴史を礎に、さらなる高みへ。

専門性を磨き、揺るぎない安心を築く、

築いてきた歴史を耕し、次の 10 年へ繋ぐ土壌作り

(法人のこれまでの歩みを大切にしつつ、新しい挑戦を始める決意)



年頭式 10 年 20 年表彰者と各事業者責任者



年頭式の様子

新しい年が始まりました。日夜、現場を支えてくれている職員の皆さんに心から感謝いたします。今年のスローガンは「深耕（しんこう）」です。これまで私たちは、多くの利用者様との出会いの中で組織として大きく成長してきました。今年はその土壌をさらに深く耕し、一人ひとりのケアの専門性を磨き上げる一年にしたいと考えています。「当たり前の日常」を誰よりも深く見つめ、利用者様の本当の願いに手を届かせる。私たちの「深耕」が、施設に豊かな笑顔を咲かせ、地域に安心の根を張る原動力となります。



スローガン『深耕』を胸に、新たな一歩を。

理事長あいさつ

理事長より、2026年のスローガン「深耕（しんこう）」に込められた想いが語られました。「これまで培ってきたケアの質をさらに深め、地域に根ざした揺るぎない安心を共に築いていこう」という力強いエールに、会場全体が身の引き締まる思いに包まれました。また、その気づきを確実なケアにつなげる基盤として、「報連相（報告・連絡・相談）」の徹底についても言及されました。「一人の気づきを共有すること。適切な報連相こそが、ミスを防ぎ、質の高いサービスを深める第一歩である」という言葉に、改めて私たちの原点を振り返る機会となりました。

副理事長あいさつ

副理事長からは、現場を支える職員一人ひとりの専門性への期待が述べられました。「日々の小さな気づきを大切にすることが、利用者様の豊かな暮らしにつながる」という、私たちの役割の重要性を再認識するメッセージを受け取りました。プロとしての視点を研ぎ澄ませ、日々の関わりをより豊かなものにしていこうという決意を新たにしました。

永年勤続表彰

今年度は20年1名、10年9名のスタッフが表彰されました。長年にわたり当法人を支えてきた先輩方の功績を称えとともに、今後の抱負を語って頂きました。

各事業所のスローガン発表

各事業所からは、それぞれの地域や特性に合わせたスローガンが発表されました。「利用者様の笑顔」「多職種連携」など、現場ならではの具体的な決意が飛び交う、活気あふれる時間となりました。

施設長あいさつ

年頭式の最後を締めくくったのは、施設長による挨拶でした。「スローガンである『深耕』とは、決して難しいことではありません。昨日よりも一歩深く、利用者様のお話に耳を傾けること。昨日よりも丁寧に、仲間と声を掛け合うこと。その積み重ねが、この施設をより温かく、信頼される場所へ変えていき、私たちの施設の価値となります。」という、現場への期待が語られました。

2026年のスタートにあたって：感謝と決意を胸に

開苑30周年という節目を迎え、支えてくれた皆さんに心から感謝します。「深耕」を胸に、築いた歴史を礎として、より深く磨き上げていきましょう。この絆を深く耕し、次の未来へ向けて、新しい一歩をここから一緒に踏み出していきます。
